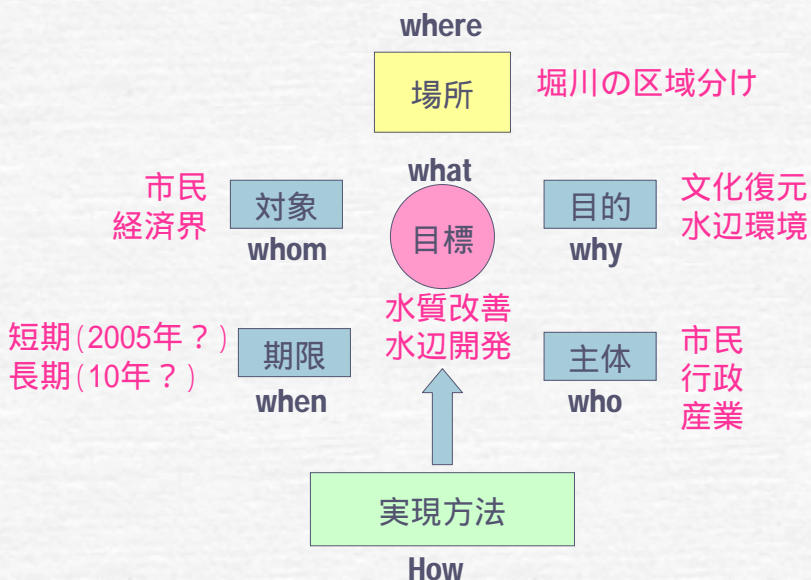


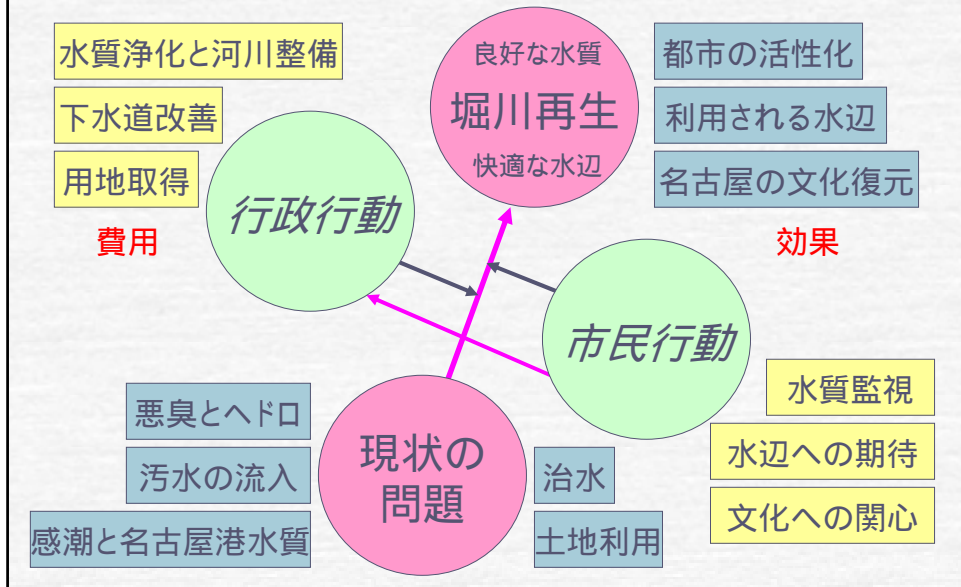
## 第4回 堀川・市民がつくる インフラ研究会

- 研究会の現況と今後の方針
- 各方面の取り組み状況
- 研究報告
  - 植生による水質浄化
  - 水質と護岸の安定性

## 堀川再生のフレームワーク



# 堀川再生プロジェクトの構図



## 堀川再生 目的と目標

### 目的 - 便益

- 市民の憩いの場提供
- 都市の活性化と観光
- 名古屋の文化歴史遺産の復元
  - 対象となる市民 名古屋市民全体

### 目標 - 対象区間において

- 水質改善の目標
  - 1)においがしない、2)美しい水面、3)魚がすむ
- 水辺空間の活用

## 研究会の目標

- ☞ 堀川再生目標の提示
- ☞ 堀川水質浄化策の評価と提示



市民活動との連携

## 堀川の浄化対策の評価

- ☞ 流入水の負荷軽減策 必ず実施すべき事項
  - 合流式下水道の雨天時負荷の軽減対策
  - とりうる流域対策の検討
- ☞ 評価すべき代替案
  - 浄化用水量の増加策
    - 導水の効果
  - 直接浄化法
    - ヘドロ浚渫、植生浄化、曝気、生物化学的浄化
  - 感潮の影響回避策
    - 潮止め堰の設置
- ☞ コスト評価

## 参考

# 大阪・水晶橋 —堂島川河道堰—

- 水晶橋はつい最近までは、正確に言えば橋ではなかった。この橋は本来は昭和4年に完成した堂島川可動堰という、河川浄化を目的として建設されたゲートである。橋面の改装が行われたとき、さらに多くの人に利用してもらうことを願って、法律上も橋と認定する手続きがとられたので、現在は名実ともに橋になっている。



## 市民活動との連携

- 堀川再生への市民の合意形成
- 名古屋の歴史と文化復元の価値の理解
- 水辺空間利用への期待醸成と理解



- 政策決定への市民からの提言